



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 天龍製鋸株式会社
 コード番号 5945 URL <https://www.tenryu-saw.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大石 高彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 堀内 敏晴

TEL 0538-23-6111

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,378	35.1	653	97.1	716	70.3	508	69.2
2021年3月期第1四半期	2,500	17.6	331	23.1	420	4.6	300	0.9

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,223百万円 (191.0%) 2021年3月期第1四半期 420百万円 (117.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	109.83	
2021年3月期第1四半期	64.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	32,025	28,697	89.6
2021年3月期	30,783	27,844	90.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 28,697百万円 2021年3月期 27,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		80.00	80.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、2022年3月期期末及び年間配当予想額については未定です。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,100	24.4	810	54.8	860	31.4	610	34.6	131.82
通期	12,000	8.9	1,600	3.2	1,700	3.0	1,200	0.2	259.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	5,573,817 株	2021年3月期	5,573,817 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	946,348 株	2021年3月期	946,286 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	4,627,515 株	2021年3月期1Q	4,627,532 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、先進国では、新型コロナウイルスワクチンの接種が進み移動制限等の措置も段階的に解除されていることから景気の改善基調が強まっています。特に米国では、経済活動の再開が進み、政府の追加経済対策による個人消費の押し上げ効果も加わり、景気回復の動きが顕著となっています。欧州でも、個人消費や企業収益が上向いており、景気は持ち直しつつあります。中国については、輸出・生産の堅調な増加が続き、景気の回復基調を維持しています。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、輸出の増加等を中心に景気の持ち直しの動きが見られます。しかしながら、ワクチン接種が進む一方で、新たな変異ウイルスによる感染が拡大するなど、景気の先行きは予断を許さない状況となっています。

このような状況下、当社グループにおいては、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先とし、お客様への商品・サービスの安定供給、並びに、日本・中国・タイの各生産拠点の特性に応じた効率的な生産体制の構築に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、国内外市場で受注が回復し販売が好調に推移したことにより、3,378百万円（前年同四半期比35.1%増）となりました。利益面では、コロナ禍により休業を余儀なくされた前年の同時期に比べ、大幅に操業度が改善されるとともに、海外工場での生産効率の向上が進んだことなどにより、営業利益は653百万円（前年同四半期比97.1%増）、経常利益は716百万円（前年同四半期比70.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は508百万円（前年同四半期比69.2%増）となりました。

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等の適用により、当第1四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ16百万円減少しています。なお、営業利益に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

輸出を含めた販売は総じて好調に推移し、売上高は2,847百万円（前年同四半期比43.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、コロナ禍による休業等の減益要因がなくなったことを主因に、264百万円（前年同四半期比218.6%増）となりました。

② 中国

住宅資材用チップソーの販売が好調に推移し、売上高は1,290百万円（前年同四半期比55.4%増）、セグメント利益（営業利益）は、生産効率の向上などにより、307百万円（前年同四半期比103.1%増）となりました。

③ アジア

金属用チップソーの受注が回復したこと等により、売上高は364百万円（前年同四半期比22.2%増）、セグメント利益（営業利益）は41百万円（前年同四半期比93.8%増）となりました。

④ アメリカ

受注は順調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外工場からの入荷遅れが発生したため、売上高は409百万円（前年同四半期比16.3%減）、セグメント利益（営業利益）は40百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

⑤ ヨーロッパ

金属用チップソーの販売が増加したことにより、売上高は170百万円（前年同四半期比12.7%増）となりましたが、利益率の低いアイテム中心の販売となったため、セグメント利益（営業利益）は5百万円（前年同四半期比53.3%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましては、依然として新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明につき、現時点において2021年5月13日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,801,882	7,001,176
受取手形及び売掛金	2,772,258	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,064,055
有価証券	2,002,798	2,202,140
商品及び製品	2,112,454	2,095,426
仕掛品	640,335	602,934
原材料及び貯蔵品	1,243,805	1,343,766
その他	216,496	242,271
貸倒引当金	△102,918	△109,550
流動資産合計	15,687,112	16,442,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,837,552	1,845,523
機械装置及び運搬具(純額)	3,435,104	3,525,486
土地	2,478,185	2,482,881
その他(純額)	188,213	198,435
有形固定資産合計	7,939,056	8,052,328
無形固定資産	90,704	86,317
投資その他の資産		
投資有価証券	6,523,018	6,893,135
退職給付に係る資産	114,503	122,474
その他	443,628	442,539
貸倒引当金	△14,099	△13,888
投資その他の資産合計	7,067,050	7,444,260
固定資産合計	15,096,811	15,582,906
資産合計	30,783,923	32,025,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,794	635,651
未払法人税等	161,704	175,506
賞与引当金	165,400	99,760
その他	661,763	842,005
流動負債合計	1,529,663	1,752,925
固定負債		
繰延税金負債	1,394,480	1,552,471
退職給付に係る負債	—	6,760
その他	15,717	15,478
固定負債合計	1,410,197	1,574,710
負債合計	2,939,861	3,327,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	581,335	581,335
資本剰余金	552,747	552,747
利益剰余金	25,927,775	26,065,804
自己株式	△1,980,958	△1,981,128
株主資本合計	25,080,899	25,218,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,058,653	2,313,946
為替換算調整勘定	586,629	1,057,782
退職給付に係る調整累計額	117,879	107,005
その他の包括利益累計額合計	2,763,163	3,478,734
純資産合計	27,844,062	28,697,492
負債純資産合計	30,783,923	32,025,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,500,593	3,378,314
売上原価	1,575,223	2,100,155
売上総利益	925,369	1,278,158
販売費及び一般管理費	593,915	624,741
営業利益	331,454	653,417
営業外収益		
受取利息	6,396	10,593
受取配当金	48,751	53,247
為替差益	34,545	—
その他	11,232	13,522
営業外収益合計	100,924	77,363
営業外費用		
支払利息	100	20
為替差損	—	14,393
その他	11,687	269
営業外費用合計	11,787	14,683
経常利益	420,591	716,096
特別利益		
固定資産売却益	116	—
特別利益合計	116	—
特別損失		
固定資産除却損	75	2,221
特別損失合計	75	2,221
税金等調整前四半期純利益	420,631	713,875
法人税、住民税及び事業税	63,927	151,530
法人税等調整額	56,389	54,113
法人税等合計	120,316	205,643
四半期純利益	300,314	508,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	300,314	508,231

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	300,314	508,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	352,618	255,292
為替換算調整勘定	△235,701	471,152
退職給付に係る調整額	3,260	△10,873
その他の包括利益合計	120,176	715,571
四半期包括利益	420,491	1,223,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,491	1,223,802
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料を売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ16,686千円減少しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,613,804	138,251	112,478	486,407	149,651	2,500,593	—	2,500,593
セグメント間の内部 売上高又は振替高	368,222	692,139	185,366	3,004	1,452	1,250,186	△1,250,186	—
計	1,982,026	830,391	297,845	489,411	151,104	3,750,780	△1,250,186	2,500,593
セグメント利益	82,905	151,589	21,239	39,794	11,080	306,609	24,844	331,454

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,197,768	470,673	131,005	408,784	170,083	3,378,314	—	3,378,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	649,281	819,445	233,026	645	264	1,702,663	△1,702,663	—
計	2,847,049	1,290,118	364,032	409,429	170,347	5,080,977	△1,702,663	3,378,314
セグメント利益	264,113	307,844	41,171	40,786	5,170	659,086	△5,669	653,417

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「日本」の売上高は701千円減少し、「アメリカ」の売上高は11,594千円減少し、「ヨーロッパ」の売上高は4,390千円減少しております。なお、セグメント利益に与える影響はありません。